

ラグビーワールドカップ 2019 の準備状況について

1. 試合開催会場変更

新国立競技場が使用できなくなったことに伴う変更について、2015年9月28日、ラグビーワールドカップリミテッド（RWCL）及びワールドラグビーにより、東京スタジアムを試合開催会場とする計画変更案が承認された。

あわせて、東京スタジアムでは、開会式・開幕戦、横浜国際総合競技場では、決勝戦を行うことが決定された（全国12か所の開催都市については別紙参照）。

2. 大会日程の決定

2015年10月27日（英国時間）にRWCLより、ラグビーワールドカップ2019の開催日程が2019年9月20日から11月2日に決定したことが発表された。

※RWCLとラグワールドカップ2019大会組織委員会（以下、「組織委員会」という。）の協議により決定。

3. チームキャンプ地選定スケジュール（予定）

2016年 春～夏	<u>組織委員会にてチームキャンプ地選定概要発表</u>
2016年 夏以降	組織委員会によるチームキャンプ地選定開始
2017年 冬以降	<u>各国チームの候補地視察を受入れ、順次 キャンプ地決定</u> ※オリパラ大会とは異なり、組織委員会がキャンプ地を決定するのが原則
2019年8月～	大会参加国、キャンプ地入り

ラグビーワールドカップ2019開催都市一覧

開催都市	試合開催会場
札幌市	札幌ドーム
岩手県・釜石市※	釜石鶴住居復興スタジアム（仮称）
埼玉県・熊谷市※	熊谷ラグビー場
東京都	東京スタジアム
神奈川県・横浜市※	横浜国際総合競技場
静岡県	小笠山総合運動公園エコパスタジアム
愛知県・豊田市※	豊田スタジアム
大阪府・東大阪市※	東大阪市花園ラグビー場
神戸市	神戸市御崎公園球技場
福岡県・福岡市※	東平尾公園博多の森球技場
熊本県・熊本市※	熊本県民総合運動公園陸上競技場
大分県	大分スポーツ公園総合競技場

- ・「※」の開催都市は、共同開催
- ・東京スタジアムでは、開会式・開幕戦、横浜国際総合競技場では、決勝戦を行うことが決定している